

## 施設整備計画 事後評価シート(総括票)

※この総括票については、計画年度終了時点における施設整備計画(計画を変更しているものについては、最終変更後の計画)に基づいた事後評価の結果を記入すること。  
また、その評価を行った施設整備計画を添付すること。

### 1 公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標の達成状況について

#### ④施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

##### 【達成状況】

<input type="checkbox"/>	計画どおり実施できた。
<input type="radio"/>	計画したが、一部実施できなかった。
<input type="checkbox"/>	計画したが、すべて実施できなかった。

##### 【所見】

###### <特別支援学校の整備>

建設予定地から環境基準を超えるヒ素が検出されたことから、工事計画の仕切り直しとなり、事業実施ができなかった。

###### <一般施設の整備>

老朽化が著しい飛騨高山高等学校農業科の実習施設について、当初の計画どおり事業を実施し、所定の期限内に整備を完了することができた。特に、安全衛生上の対策により畜産公害を防げる施設となり、安全で衛生的に学べる学習環境を整備することができた。

### 2 事後評価の時期及び方法について

###### <特別支援学校の整備>

大学教授(障害児心理)、福祉団体代表者、医療関係者、保護者代表者等で構成する「子どもかがやきプラン推進委員会」を毎年4回程度開催し、施設整備の内容や完成後の施設に対しての意見や評価を受けている。また同委員会では、今後の特別支援学校の整備に関する意見も聴取している。

###### <一般施設の整備>

各整備事業について、緊急性や優先度を勘案した計画を所管課にて作成し、計画的に整備を進める。年度末や各事業の完了時に、その実績により達成度を評価し、ホームページにて公表する。

### 3 事後評価の総合所見及び今後の施設整備計画への反映等について

###### <特別支援学校の整備>

取りやめた事業については、環境が整い次第、整備を再開し、平成30年度末の完了を目指す。

今後も、児童生徒の遠距離通学の改善や既存校の教室不足の解消を図るため、計画的かつ着実に事業を計画し、すすめていく。

###### <一般施設の整備>

対象となった学校において、計画どおり事業を実施することができた。県内各校における産業教育施設の老朽化は、著しく進んでいる。今後も各学校の実態(設置学科、生徒数、既存設備の老朽化の状況等)と、各学校からの要望を踏まえ、適正かつ計画的に整備を進めていく必要がある。

## 施設整備計画 事後評価シート(個別票)

1 計画名称 岐阜県公立学校等施設整備計画

都道府県名	岐阜県
市町村名	—

2 計画作成主体 岐阜県

3 計画期間 平成28年度

### 4 個別事業一覧

※この個別票については、計画の変更に伴い取り下げた事業も含めて、施設整備計画に計上したことのある全ての事業を計上すること。

学校名	整備区分	事業番号	事業名	建物区分	構造区分	事業実施の有無	(事業を実施した場合) 竣工年月日	(事業を実施しなかった場合) 実施できなかった理由及び今後の方針	施設整備計画の変更		備考
									事由	変更年月日	
岐阜希望が丘特別支援学校	④	1301	学校水泳プール(屋内)	—	R	×		建設予定地より環境基準を超えるヒ素が検出され、着工することができなかったため。H29以降で実施予定。	削除	平成28年9月8日	
飛騨高山高等学校	④	1101	一般施設	—	W	○	平成29年3月23日				